

1. 調査報告概要表

【認知症対応型共同生活介護用】

作成日 平成20年5月1日

【評価実施概要】

事業所番号	2774600551
法人名	医療法人 千輝会
事業所名	グループホーム神田イン国分
所在地	大阪府柏原市片山町1番24号 (電話) 072-975-1133
評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1番54号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成 20年 4月 11日

【情報提供票より】(平成20年2月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16年 5月 1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	27人	常勤	7人, 非常勤 20人, 常勤換算12.6人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り
	2階建ての 1階 ~ 2階部分

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(300,000円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,500円		

(4) 利用者の概要 (平成20年2月1日現在)

利用者人数	16名	男性	4名	女性	12名
要介護1	0名	要介護2	5名		
要介護3	4名	要介護4	4名		
要介護5	3名	要支援2	名		
年齢	平均 86.9歳	最低	73歳	最高	100歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	神田医院、久野歯科
---------	-----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

地域にある医療法人が運営するグループホームで、近隣に母体医院、訪問看護ステーション、小規模多機能居宅介護事業所があります。「共に生活される方々のこれまでの人生を尊重し、落ち着いた雰囲気の中で自分らしく暮らす事ができるように、私達は温かく支援します」をホームの理念として掲げ、利用者が安心してその人らしい生活を続けられるよう家族、職員、地域住民と共に支えています。職員は利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向に沿うよう支援し、やさしい雰囲気です。症状の重度な利用者も生き生きと生活しています。母体医院の医師と同一法人の訪問看護ステーションの看護師との医療連携により利用者に必要な医療と看護を提供しています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連科目:外部4) 前回の外部評価で示された事項について、改善が進んでいます。重度化に対応した入浴用のリフトを設置し、2階テラスの段差部分に転倒防止用の床机を設置し花を飾っています。声かけによる排泄の自立化が進み、オムツやパッドの使用が減少しています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価については、管理者は職員と議論をしながら完成させ、認識の共有を図ってサービスの具体的な改善に取り組もうとしています。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は柏原市職員、地域包括支援センター職員、消防署や警察署員、地域の代表、家族の参加のもと、おおむね2ヶ月毎に開催しています。会議ではホームの運営状況や行事、利用者の生活ぶり、職員の研修内容、地域との交流、地域における認知症についてのホーム主催の勉強会の開催等について説明して意見を交わし、地域との相互理解を深めています。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族との面会時には、利用者の生活ぶりや連絡事項を伝え、利用者の医療や安全に関わる事項については、必要の都度電話で家族に報告しています。月に1回、写真を中心に生活ぶりを記した手紙を添えて家族に送付しています。家族とは面会時だけでなく、介護計画作成時にも話し合い、家族が思いや希望、不満を表現するように対応しています。季節毎に家族も参加する行事を開催して意見交換をしています。「疑問と質問」「苦情と相談」それぞれを投函できる箱も設置して、家族が意見を表せる機会を設けています。
重点項目③	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) ホームの納涼祭や敬老会では地域の方やボランティア、子どもたち、家族の協力で太鼓の演奏や踊り、カラオケ、子どもたちのダンス、露店などを楽しみ、ホーム前での秋祭りだんじり行列との交流で利用者は大いに喜ばれています。敬老の日には保育園に招待されたり、中学生が体験学習に訪れたりしています。職員は「地域に進出すること」を目指し、老人会でボランティアをしたり、地域で認知症の勉強会を主催し開催したりしています。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「共に生活される方々のこれまでの人生を尊重し、落ち着いた雰囲気の中で自分らしく暮らす事ができるように、私達は温かく支援します」をホームの理念として掲げ、利用者が安心してその人らしい生活を続けられるよう家族、職員、地域住民と共に支えています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を明文化し掲示しています。年間の事業計画や月例の全体会議、四つの委員会、毎日の業務等を通じて理念を共有し、理念に沿った介護サービスの実践に取り組んでいます。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	ホームの納涼祭や敬老会では地域の住民やボランティア、子どもたち、家族の協力で太鼓の演奏や踊り、カラオケ、子どもたちのダンス、露店を楽しみ、ホーム前での秋祭りだんじり行列との交流で利用者には大いに喜ばれています。敬老の日には保育園に招待されたり、中学生が体験学習に訪れたりしています。職員は「地域に参加すること」を目指し、老人会でボランティアや、地域で認知症の勉強会を主催し、開催しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価で示された事項について、改善が進んでいます。重度化に対応した入浴用のリフトを設置し、2階テラスの段差部分に転倒防止用の床机を設置し花を飾っています。声かけによる排泄の自立化が進み、オムツやパッドの使用が減少しています。自己評価については、管理者は職員と議論をしながら完成させ、認識の共有化を図り、サービスの具体的な改善に取り組もうとしています。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は柏原市職員、地域包括支援センター職員、消防署や警察署員、地域の代表、家族の参加のもとで、おおむね2ヶ月毎に開催しています。会議ではホームの運営状況や行事、利用者の生活ぶり、職員の研修内容、地域との交流、地域における認知症についてのホーム主催の勉強会の開催等について説明して意見を交わし、地域との相互の理解を深めています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	柏原市の担当職員とは常に相談や情報交換を行ってサービスの向上に取り組んでいます。市の協力を得て、ホーム職員が主催した地域での認知症の勉強会を開催することができました。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族との面会時には、利用者の生活ぶりや連絡事項を伝え、利用者の医療や安全に関わる事項については、必要の都度電話で家族に報告しています。月に1回、写真を中心に行事の実施状況を載せた「ホーム便り」とともに、職員が手書きした利用者の健康状態や生活ぶりを記した手紙を添えて家族に送付しています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族とは面会時だけでなく、ケアプラン作成の時にも話し合い、家族が思いや希望、不満を現せるように対応しています。季節毎に家族も参加する行事を開催して意見交換をしています。「疑問と質問」「苦情と相談」それぞれを投函できる箱も設置して、家族が意見を表せる機会を設けています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	非常勤職員の退職はありますが、ベテラン職員の頑張りにより、利用者への影響は抑えられています。新人職員の採用時研修も計画的に実施されています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は職員の育成教育に熱心で外部研修に積極的に参加ができています。ホーム内でも研修会を実施し、伝達研修や独自の研修を行い職員のステップアップを目指し努力しています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	大阪認知症高齢者グループホーム協議会に加入して、グループホーム間の相互研修を実施するとともに、近隣のグループホームとも交流をするべく声かけをしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	職員が家庭訪問を行ったり、利用者や家族がホームに来訪したりするなど、家族や本人の不安を取り除き、安心して入居、サービスを受けられるよう取り組んでいます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学び支えあう関係を築いている	職員は利用者と共に過ごし、学び支えあう関係を目指した支援を行っています。農業に通じた人、学校の先生だった人、お好み焼屋だった人等、利用者の得意分野で、家事や行事の機会を通して学び支えあう関係を作っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時に家族や利用者からの聞き取りは行われていますが、その後の毎日の生活を通じて得られた、利用者の生活歴や意向の新たな気付きを記録・整理し、日々のケアや暮らし、楽しみに生かすことが望まれます。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者の現在の暮らしや願い、心身の状況を把握するとともに、医師や看護師の意見、家族の意向を反映させ、介護計画を作成しています。適切な介護計画のもとで介護を受けている利用者は、身体の状態や認知症状が相当重度化しているにも関わらず、生き生きと元気よく過ごし、入居後、回復し自立した利用者もいます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は定期的には6ヶ月毎に、また状態の変化がある時はその都度見直しを行っています。援助項目毎に毎日の実施状況を記録し、月毎に計画作成担当者が評価し、介護計画の見直しにつなげています。ただ、計画作成担当者と職員とのコミュニケーションが十分にできており、全体会議でもその機能を果たしているという理由で、改めてケア会議を開催していない状況です。ただ、ケア会議は利用者の今後のケア目標を決める重要な会議であり、できれば職員だけでなく医師や看護師、家族も入れてケア会議を実施することが望まれます。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	母体法人の医院の医師と同一法人の訪問看護ステーションの看護師との医療連携により、必要な医療と看護を提供しています。ホームでは必要の都度通院介助も行っています。地域のボランティアの支援も受けています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	母体医院の医師による往診医療を受けていますが、診療科目によっては入居以前の、かかりつけ医療機関から引き続き医療を受けています。母体医院と連携し、夜間や急変時の対応についての体制も整備されています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	過去に看取りを行った利用者もあり、現在も看取りを実施している利用者がいます。入居時に、ホームでの看取り実施の方針を伝え、家族に説明しています。状況の変化とともに、利用者と家族、医師、ホームとの話し合いを行い意向の確認を続けていく予定です。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりを人生の先輩として尊重し、職員の言葉かけや態度は明るく丁寧で、やさしい雰囲気です。職員は採用時に個人情報の取り扱いについて法人と書面を取り交わしています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の生活リズムに配慮し、利用者のペースでゆったりと暮らせるよう支えています。職員が利用者を制止したり、急かしたりする言葉はなく柔軟な対応をしています。入浴や食事の時間については柔軟に対応しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の意見をいれた献立表にしたがって職員が調理しています。買物から、食事準備、下ごしらえ、調理、盛り付け、後片付け等の一連の作業に利用者も得意な分野で積極的に参加しています。職員は同じものを食べながら、利用者の食べ方の混乱や食べこぼしに対するサポートをさりげなく行い、会話をしながら楽しくなごやかな雰囲気を作っています。月に2回は「神田喫茶の日」を設定し季節の旬の材料を使ったケーキやお餅、おやつを作って喫茶店の雰囲気を楽しんでいます。寿司店での外食の機会もあります。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	希望があれば毎日でも入浴ができ、平均して週3回程の入浴ができています。毎日入浴している利用者もいます。月に2回「温泉の日」を設け、季節の草花や果物を浮かべたお風呂を楽しんでいます。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者は一日の生活の中で家事にそれぞれの役割を見つけ、分担し合いながら張り合いのある生活を送っています。利用者が共同で季節毎の花などの自然や風物、行事を表現する大型の作品を作ったり、クラブ活動で手芸や習字、おやつ作りをしたり、歌を歌って楽しんでいます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的な周辺の川や公園への散歩のほか、買い物や外食を楽しみ、季節の花や風物を楽しむ外出もしています。利用者の希望を個別に聞き、普段は行けない墓参りや生まれ育った所へは家族の協力で実現するよう支援しています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	各フロアドア、エレベーター、玄関扉とも日中開錠しています。外出希望のある利用者にも見守りにより対応しています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練については、年に2回、消防署の協力を得て実施しています。非常・災害時の食料品と水の備蓄も行っています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の食事摂取量と水分摂取量を把握し記録しています。栄養バランスについては、専門家の指導書を参考にし、また同法人医療機関看護師にも相談し、管理を行っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	桜並木の川に面した玄関口にはプランターに植えられた季節の花があり、椅子やベンチもあって訪ねやすい雰囲気になっています。リビング兼ダイニングルームはフロアドアまで見通しのきく、明るく、開放的でゆったりとしたスペースで、畳のあるコーナーやソファーが寛げる場所になっています。壁に貼られた季節感のある大型作品やクラブ活動で作った手芸作品も飾り、生活感のある家庭的な空間になっています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室には、利用者が整理ダンス、洋服ダンス、椅子、テレビ、ラジカセ、花、位牌、遺影、手作り手芸作品、家族の写真等使い慣れた馴染みのある物を持ち込み、家族の思いも感じられ、落ち着き安心して生活できる空間になっています。		